

見どころ案内

シュウメイギク (キンポウゲ科)

秋の風情を感じさせる花で、花壇や鉢植えによく利用されています。花卉のように見えるのはがく片で、開花後は羽毛に包まれた種が実ります。

シクラメン・ヘデリフォリウム (サクラソウ科)

ヘデリフォリウムとはヘデラのこと、葉がヘデラによく似ていることから名づけられました。秋咲き原種のシクラメンです。

**熱帯
スイレン
温室
休館中**

バルボフィラム・ファレノプシス (ラン科)

一番大きなバルボフィラム。大きな葉を下向きに伸ばし、株元に茶褐色をした花を咲かせます。花は非常に臭い匂いを発します。

クンシラン (ヒガンバナ科)

一年中楽しめる多年草で、名前にランがついていますがヒガンバナの仲間です。日陰でもよく育ち、オレンジ色や黄色の花を咲かせます。南アフリカ原産のため、耐寒性はあまりありません。

ハンギングバスケット

カスケード壁面に3つの巨大ハンギングバスケットがあり、リンドウ・セロシヤ・ジニアなどを使い、秋バージョンに美しく彩りました。[日本ハンギングバスケット協会 ハンギングバスケットマスター作]

展示会のご案内

- ◇ 展示資料館 1F(9/22~12/25)
- 特別企画展「バオバブ展」
- ◇ 展示温室 (9/29~10/14)
- サボテン展

コスモス (キク科)

メキシコ原産の一年草で、日本には明治初期に本格的に広まりました。明治後期には全国に普及しました。ピンク色の花が咲き始めています。

ベニマンサク

(マンサク科)
全国的にはマルバノキの名で知られています。分布が局所的であり、珍しい木です。廿日市市大野のベニマンサク群叢が広島県の天然記念物の指定を受けました。紅葉が始まりました。

クジャクアスター

(キク科)
北アメリカ原産の一年草で、シロクジャクとユウゼンギクなどとの交配で多数の園芸品種が作られています。

特別企画展 バオバブ展

大温室にオーストラリアから導入した日本最大のバオバブが植栽されているところから、世界各地のバオバブをパネルや標本などで紹介します。また、植栽した時の状態を映像でも紹介しています。

